

〇〇〇 肯定的意見 〇〇〇

【家庭学習】

〇いつもありがとうございます。宿題等学習面も細やかな御指導本当に感謝いたします。今後ともよろしくお願いいたします。

【望ましい人間関係】

〇コロナ禍の中、多忙を極めていらっしゃるのに、子どもたちへの細やかな御配慮にいつも感謝しありません。

〇低学年の雰囲気から少し大人びてきた我が子を見て、学校で様々なことを見たり聞いたりして成長しているのだなと感じております。人は人との関わりで生きていかねばならないと思います。いつも御指導ありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。

〇いつも先生には感謝しております。これからも各家庭のお子さんの本質をしっかり見てもらい、様々な活動に取り組んでいってほしいと思います。いつも遅くまでお疲れ様です。これからもたくさんの御指導をお願いいたします。

*他に同様の御意見が6件ありました。

【挨拶】

〇毎朝、子供たちの登校時に校長先生、地域の方々から事故のないように声かけ・目かけをしていただいております。大きな事故なく過ごせている事に頭の下がる思いです。感謝しております。子供たちが地域の大人に挨拶できるのはこのおかげだと感じます。いつもありがとうございます。

【交通安全】

〇年に何回かの朝の見守りは仕事などでできない中（すみません）、校長先生、角田先生はどのような天候でも立っておられます。安全に気を付けていただき感謝です。寒くなってきます。お体御自愛ください。

【笑顔あふれる学校】

〇毎日学級が楽しいと言っております。お友達と先生の御指導があるからだと感じております。

〇6年間1度も登校を渋ることがありませんでした。お友達に恵まれたこと、そして他ならぬ先生方の御指導があったからこそ思っております。残り僅かな小学校生活ですが、引き続き御指導よろしくお願いいたします。

*他に同様の御意見が4件ありました。

【家庭との連携】

〇学校では、できる限りのことをしてくださっていると思います。家庭でやらなければならないことが不十分なところがあり、今後、可能な限り改善を図っていきたいです。いつもありがとうございます。

〇お忙しい中、気になる事があれば電話や連絡帳等できちんと答えてくださり助かっています。

〇いつも楽しく元気に登校しています。親子ともに親身に相談等にていただいております。ありがとうございます。

〇昨年度、このアンケートに記入しお願いした部活の終了時刻、スケジュール表の表記、下校時刻等を検討し、良い形で実施して下さりありがたく思っています。保護者の意見にも耳を傾けて下さり嬉しいです。

*他に同様の意見が3件ありました。

【コロナ対策】

- 行事の数はコロナ禍の状態を考えるとちょうど良いのではないかと。先生方や保護者への負担が少なく、良いと思えました。運動会の学年別、時間差はとても良かったです。
- 運動会は、今後も今年度のようなやり方で行っていただければ幸いです。
- コロナ禍で大変な年でしたが、先生方の工夫などで楽しい思い出もたくさん作れたと思います。まだまだ大変な毎日だと思えますがこれからもよろしくお願ひします。
- コロナ対策をしながらの教育活動に感謝しております。これから様々なウィルスが活発になってきますので教員の方々にはご自愛なさっていただき、その上で子供たちの教育活動に取り組んでいただきたいと思っております。
- コロナ禍で多くの行事が中止や規模を縮小する中で運動会、参観日をやっていただきありがとうございます。そういう機会を通して保護者が学校に行き、子どもの学校での様子を見ることが出来ます。今後の見通しが立たない状況ではありますが、子どもの様子を見る機会があるようお願いいたします。
- コロナ対策をしながら、6年生は修学旅行も運動会も実施することができ本当に安心しました。これからも、できる範囲で子供たちのためにできることを体験させてください。いつも本当にありがとうございます。これからもよろしくお願ひいたします。
- コロナ禍で教育活動が制限される中、様々な取組を可能な限りできるように手立てを講じてくださり、先生方には頭がさがります。おかげさまで、このコロナ禍の中でも子供の学力もついていると思ひます。

【その他】

- いつも大変お世話になっております。今後もこれまでと同様に子どもたちを見守り、必要な助言をいただきたいです。
- *他に同様の御意見が6件ありました。

▼▼▼ 改善を求める意見 ▼▼▼

【学力向上】

- ▼授業で習った内容をもっと濃く、もっと分かるまで教えて欲しい。

学校では、1時間の授業の始めに「前の時間の復習」を取り入れたり、授業の後半には学習した内容を活用したり、考えを広げる話合いをしたりしています。それぞれのお子さんの理解が深められるようこれからも指導方法の研究を進めていきます。

- ◇タブレットの導入をして欲しい。

国では〈GIGAスクール構想〉を推し進めており、おいらせ町でも、今年度中に全小中学生に1人1台のタブレット端末が渡されます。子供たちがICTを適切・安全に使いこなすそれぞれの可能性を大きく広げることができるよう、学校でも情報教育の充実に向けて取り組んでいきます。

- ◇算数をレベル別で授業して欲しいと思ひます。

「レベル別」というわけではありませんが、木ノ下小学校では、3年生以上の全学年で、冬休み明けに3日間「算数コース別学習」を行っています。学年の先生方と普段は音楽や英語を専門に指導している教師も加わり、少人数指導で学習内容の定着をはかったり、発展問題に取り組んだりしています。この取組を通して、全体の学力を底上げしようと考えています。

【家庭学習】

▼宿題のプリントも増やして欲しい。▼宿題が少ない。

宿題の量について学校でも毎年、職員会議で話し合い「家庭学習の手引き」として各家庭にも配布しているところです。再度御確認いただき、お子様に余裕があるようであれば、一人勉強ノートへの取組やそれぞれの御家庭で宿題以外の課題を準備するのもいいかと思います。

【道徳】

▼道徳を教える立場として、言っていること悪いこと、やっていること悪いことの見本（手本）を生徒に見せてあげてください。正しい道徳を学ばせてください。

本校では、児童一人一人が将来に対する夢や希望、自らの人生や未来を拓いていく力を身に付ける事ができるよう、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標に道徳の時間だけでなく全教育活動の中で指導を重ねているところです。御指摘の通り、教師の言動が手本となるよう心掛けておりますが、何かお気づきの点等ございましたら学校まで連絡をお願いいたします。

【望ましい人間関係】

▼アンケートとは少し内容が違いますが、乱暴な言葉を遊びの中で相手に言うなど、子どもからよく聞きます。昼休みや中休みなど、児童が活動する校庭等に先生が1人でも、見守りについているのか気になります。

▼大人の目が届かないところでけっこう嫌なあだ名などを言われているようです。学校での指導や道徳などで学習したとしても消せるものではありませんが、「自分がされたら嫌なことは相手はもっと嫌」「人に優しく」「人を認める」のあたりを折を見て根気強く御指導いただけたらと思います。

御指摘ありがとうございます。いつでも、どこでも、誰に対しても適切な人間関係を築くための言葉遣いは、これからの人生においても大切になります。また、校庭等の見回りも実施していますが、全体にまで目が届かないのが現状です。その意味でも、児童一人一人の心に響く指導を続けていきます。

▼異年齢集団は本当に必要なのか疑問です。上級生から心ない言動をあげせられる事もあるようです。（清掃以外でも）自分たちのクラスを清掃する形でいいのではないかと思います。

▼清掃活動は学年で行うのではなく、クラスで行って欲しいです。1年生の時から今まで、子どもからよい話はなく、高学年にこき使われて終わっているのが事実です。先生の目が行き届かないのであれば、クラスで行った方がよっぽど良い掃除分担ができると思います。

本校では、「人との望ましい関わり合いを継続」することで「生きる喜び」「笑顔で生活」できる学校を目指しています。異学年で活動する縦割り班清掃も関わり合いの一つです。御指摘のような事がないよう、職員一同、徹底して指導して参ります。

▼生徒に対しての言葉遣いが必要以上に荒い教師がいらっしゃるようですが、諸先生方は容認の姿勢なのか、指導の姿勢なのか伺いたいです。

望ましい人間関係を築く上で、正しい言葉遣いはその基本となります。児童であっても一人の人間として対応しなければなりません。言葉遣いも含め対応が適切でない教員に対しては指導して参ります。

【いじめ防止】

- ▼困ったことを先生に相談したことが相手の耳に入り「告げ口をしたせいで、自分が先生から叱られた」ということがゼロであればいいなと思います。

御指摘の通りです。そうならないように対応しているつもりですが、気になる点がありましたら学校まで御相談ください。

【生活習慣】

- ▼「早寝、朝日、朝ごはん」…学校からの指導を毎日やって欲しい。この期間が終わると、またゲームばかりで困る。

健やかな体の育成に向けて、今年度は「早寝・朝日・朝ごはん」について家庭と連携して取り組む事にし、冬休み前と後に1回ずつアンケートを実施しました。このアンケートの結果はお知らせしておりますので、親子で読み合い、御家庭でのルールを見直すきっかけにいただければと考えます。

【体力づくり】

- ▼体力づくりはいいと思いますが、1年を通して朝早く家を出してやり、中間休み等も体力づくりに使うのは、少し内容を詰めすぎていると思います。全員が登校している時間から下校するまでの間に時間を設定する平等性も必要だと思います。毎日シールを貼って結果を示すことになっており、クラスのお便りにも結果が載ります。それならば、なおさら、授業と同じように全員が同じ時間内にやれるようにしていただきたいです。

前年度までの体力テストの結果から、持久力の弱さが木ノ下小学校全体の課題となっており、マラソンに取り組むことで克服していきたいと考えております。朝の体力づくりについては、登校時間の違いもありますので走ることができる児童は7時30分から走ってもいいことにしています。各学年の目標とする距離（周回数）を設定していますのでそれを達成するために、朝マラソンに限らず、それぞれの児童が走ることができる時間を選んで取り組むことにしています。

- ▼体力づくりにマラソンをすることはよいと思います。でも、みんながみんな得意な訳でもないし、苦手ながらも一生懸命走っていると思います。そんな頑張っている中で「マラソン大会」があるというだけで「学校に行きたくない」とその理由で毎日泣きます。順位を付けてまで「マラソン大会」をする必要はありますか？それ以外では学校に行きたくないとは言いません。

今年度は、コロナ対策のため予定していたマラソン記録会とはせず、運動会種目の1つとしましたが、それでも、春からマラソン大会を目指して努力してきたのも確かです。大会ですので順位はつきますが、順位と同時に個人の記録もとっています。各学級担任は、学年で実施したときの記録と比べて、個人の記録の伸びを大いに褒めているところです。ぜひ、御家庭でも前回の記録と比べて良くなっている事に目を向けさせて欲しいと考えています。

【交通安全】

- ▼クラブ活動の時、小さな子供が駐車場等を走り回っているのをやめて欲しい。ひきそうになり、危ないので子供から目を離さないで欲しい。

御指摘ありがとうございます。校地内である駐車場の安全対策について再度確認し、交通事故のないようにしていかなければなりません。

- ▼コインランドリーの歩道から青葉公園側へ横断する児童がいる。6年女子です。横断歩道がないところなのでとても危険です。数回見ました。
- ▼交通ルールを再度徹底指導して欲しいです。急に道路を横断してきた低学年の子がいて急ブレーキをかけました。一時停止をしているとき、どんどん近づいてくる高学年の子がいてとても危ないと思いました。

安全な道路歩行について職員でも機会あるごとに話題にし、現場確認も実施した上で指導しているところです。コインランドリーのところは、横断歩道がないため、基本的には横断することができませんので指導していきます。

- ▼近隣で低学年の子が、共同私道で、いつも自転車に乗っていたり遊んでいたりとおり、とても危険だと近所の方と話しています。親は基本、子供を見ておらず放っており、自転車やおもちゃを道路に放置するなど迷惑しています。学校からルールについてのお手紙をいただき読んでいますが、「見ていなくても大丈夫だろう」という親がいるのは事実だと思います。保護者に対しても厳しく指導していただきたいです。

私道であっても道路であり、交通事故の危険もあると考え、今年度は春先に、道路の使い方のお手紙を配布し注意喚起をしました。校内でも、交通安全について機会あるごとに指導しているところです。御指摘のような遊び方があるのであれば、さらに町内会等で話題にし、話し合ってみてはいかがでしょうか。学校や町内会等、様々な場から注意喚起を行うことで意識も高められるものと考えています。

- ◇教育とは関係ないですが、スクールバスの範囲を増やして欲しい。子どもが歩いて登校すると1時間以上かかる所に住んでいるので、どうしても送り迎えが必要です。朝の駐車場の混雑緩和の為に検討して欲しい。うちを含めて6人の小学生がこの辺に住んでいます。

このアンケートからは場所がはっきりとしませんが、学校に連絡をいただければ内容を確認し、教育委員会にも連絡します。

- ◇セブンイレブン前の交差点がとても危ないので、毎日の登下校時に立って欲しい。

交通量の多い場所であり、地域の方も毎朝、自主的にセブンイレブン前の交差点付近に立ち、児童を見守ってくださっています。学校職員は、勤務時間の関係もあり、登校時刻に合わせて、児童の見守りを毎日実施することが不可能ですので、関係する機関とも相談していきます。また、学校では、事あるごとに交通安全の指導をしていますので、各御家庭でも毎朝一声掛けていただければと考えます。

【笑顔あふれる学校】

- ▼子供同士の信頼関係は築くことができている、互いを思いやる行動もとれていると思います。一方で子供たちと先生方との信頼関係はどうなのか心配になる事があります。これでは、いじめ等があっても先生に相談できず、悪化するのではないかと思う。子供一人一人の声に向き合って欲しいです。今、難しい年齢になっていますが先入観をもたずに、話を聞いてあげて欲しいです。
- ▼あるとき「〇〇の事、先生に褒めてもらえる？」と子どもに聞いたら「先生は、言うことを聞かない子に注意するのが忙しいからあまり褒めてもらえない」と言っていました。注意に忙しいのも十分理解できるのですが、良いところをもう少し発見し、子供たちを褒めてもらえたらと思います。子供は、先生に褒めてもらえると、とても嬉しく、家に帰ってからも話をしてくれるので、それを聞く親も嬉しくなるものです。よろしくお願いします。

御指摘ありがとうございます。おっしゃる通り、先生と子供の信頼関係なくして教育は成り立ちません。指導すべきはきっちり指導するとともに、子供との何気ない会話を通して、一人一人の気持ちに寄り添った支援を今後も心掛けてまいります。

【特別支援教育】

- ▼特別支援教育については、もっと家庭に伝える活動を増やして欲しい。まだよく分からないことが多い。

今年度は「インクルーシブ」という特別支援教育に関わる様々な情報をお知らせする配布物の発行が1回だけになってしまいました。特別支援教育についてみんなが知り、考えることができるように、「インクルーシブ」を発行するとともに、機会を見て児童にもセンターで学習する事についてお話しできることから伝えていきたいと考えています。

【家庭との連携】

- ▼学校での様子があまり分からないので、学級通信は写真を多くして欲しい。

学級通信は、学級の様子を伝えるとともに、担任の考えを伝える媒体でもあります。写真なども効果的に活用して、より分かりやすいものにしていきます。

◇校内は学校（教師）の責任、校外は親の責任。

御指摘ありがとうございます。学校での指導と保護者の指導とが同じ方向に向かうよう、これからは児童の様子を伝えるとともに、学校の教育方針、担任の考えている事を伝えることができるよう努力していきます。

【コロナ対策】

◇当初、コロナ禍で遅れた授業内容を取り戻し、今後に影響がないようにしていただきたい。

▼コロナへの対策が若干過剰と思う部分もありました。

▼コロナ禍で野外学習など実施の判断が難しい分野もあるかと思いますが、ぜひ、取り入れていただきたい。

◇コロナで密を防いでほしい。できるだけ。

- ・ おいらせ町の場合、緊急事態宣言に関わる臨時休校は、ゴールデンウィークの期間と重なったこともあり、4月22日から5月6日までの7日間であり、また、夏休み中の出校日を3日としたため、コロナ禍で減った授業日数は実質4日となっております。中止となった学校行事もあり、その分授業時間に振り分けることが可能になり、御指摘の「授業の遅れ」はありません。学習内容についても冬休み明けから、復習に取り組めるようにしています。
- ・ コロナ感染予防対策については、文部科学省からの通知に従って実施してるところです。基本的には3密と大声を避けるための対策を学校生活全般（授業、休み時間、給食、清掃、部活動）で行っていますので御理解の上、御協力をお願いします。

▼密にならないように工夫されていると思いますが、集団でいることが既に密なので、参観日などは、なくてもいいと思います。

▼参観日の実施方法や内容を先生方で話し合い、コロナ禍でも実施できる方法を検討していると思いますが、参観時間の希望をとるのであれば、もっと早く通知してもらえるとありがたいです。

▼授業参観があると子供にせがまれ、参加せねばならず不安。授業風景等はオンラインの動画配信で良いのではないか。

参観日については、この「学校教育アンケート」の他に「参観日アンケート」も実施しているところです。概ね、分散による参観日の実施には賛同を得ていると判断しています。今後もよりよい方法を模索して参ります。御指摘の「オンラインによる配信」は機材なども含め現状では不可能と判断しています。

【その他】

◇質問項目によっては分かりにくく回答しにくいものがあるので、もう少し内容を検討して欲しい。

「表現力」「望ましい人間関係」については、家庭ではなかなか判断しづらい。学校に行く回数が多いわけでもない。

御指摘ありがとうございます。学校での学習活動について判断し評価できるよう、評価の文言については今後も改善していきます。基本的には、学校での活動がお子さんの行動に変化をもたらしているのかという観点で評価していただければと考えています。

◇このまま6年生になっても4クラスであって欲しい。

学級編成の基準がありますので、それに従わざるを得ませんが、学校としても4クラスであることを願っています。

◇運動会での色分けに使用しているハチマキですが、遠くからでは判別が難しい。また、返却するのであれば色帽子でもいいのではないか。

学級の体育の時に運動用の体育帽をかぶるのですが、運動会は3色対抗となるため、体育帽の色とは違う学級が出てきます。そのため、全学級で色ハチマキを縫い付けて同一条件で競技を行っているのが現状です。大人数のため、なかなかお子さんを探すのは大変と思われませんが、御理解ください。

◇個人の個性が発揮していける教育や社会になっていくといいと思います。

学校教育は、子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を育成することを目的とし、知識や技能だけでなく、思考力、判断力、表現力等のバランスを重視することや、豊かな心や健やかな体の育成にも力を入れています。それぞれの力を伸ばす中で個人の個性もまた際立ち、社会で活躍する事ができると信じ、これからも指導していきます。

◇学校ではないのですが、今年はコロナで部活動もあまり充実していなくて、やっと再開できたと思った矢先、6年生最後の試合だからと4年生の半分が休まされました。ショックでした。会長に意見を言ったら、逆ギレされましたので説明は求めませんでした。6年生に集中して練習するのなら、5・6年生だけの練習にすればいいのに4年生の半分も練習しました。そして、LINEも便利ではありますが試合のメンバーを名前表示してくるので、試合に出られない子供は傷つきました。同じ部費を払っているのに不公平だと思います。意見を求めるから意見を言ったのに逆ギレするなんて大人げないと思います。LINEは個人情報載せるものではないと思います。部活動の時に試合のメンバーは話すべきだと思います。他の保護者も思っている事なので代表して言いました。

コロナ禍の中で、どのスポーツ少年団も工夫した取組をしていると思います。大会が減ったこともうなづけます。また、大会への参加の仕方なども様々な考え方があるかと思います。こういう時だからこそ、各団体の中で話し合い、それぞれの考え方をすり合わせていくことが大事になると考えます。もう一度話し合ってみてはどうでしょうか。